

市

勢

内 容

○沿革

○位置・地勢・気象

○市制施行以来の主なできごと

○市域の変遷

○人口

市 勢

○沿革

信達地方に人びとが住むようになったのは、縄文時代中期(約 4,000 年前)と言われている。

稲作を営む弥生時代(1世紀前後)になると豪族たちが支配するようになり、平安初期には、阿部信夫臣など氏姓をうけた豪族も出た。

奥州藤原氏の平泉王国のころ(平安時代後期)には、信達地方は、信夫の庄司佐藤一族の支配となり、1170 年ごろ阿武隈川と荒川の合流地点に杉妻(杉目)の館(大仏とも言われる)を築いたのが、福島を形成した始まりと言われている。

その後、関東武士団の進出により伊達一族の支配となり、これが 17 代伊達政宗まで続くが、1590 年(天正 18 年)には蒲生氏郷の領地となり、木村吉清が大森城主(5万石)に配された。吉清は、間もなく杉妻城主に移り福島城と改めた。

1598 年(慶長3年)上杉景勝(会津 120 万石)の領地となり、福島城代が置かれたが、1664 年(寛文4年)上杉が削封され、信達地方は幕領となった。

1679 年(延宝7年)には、本多忠国(15 万石)の支配となるが、1682 年(天和2年)にまた幕領となり、1686 年(貞享3年)堀田正仲(10 万石)の領地となる。

1702 年(元禄 15 年)には板倉重寛(3万石)が就封し、これが幕末まで続いた。

こうした中で、信達の農民は特に養蚕業に出精し、「奥州蚕種本場」銘を与えられ、福島は蚕種、生糸、織物の集散地として栄えるようになった。

1871 年(明治4年)廃藩置県により福島県が誕生、さらに 1876 年(明治9年)福島、磐前、若松の三県統一の福島県の県庁が置かれ、県政・文教の中心としての基礎がかたち造られた。

1907 年(明治 40 年)に、全国で 59 番目の市制を施行、人口3万人余の福島市が誕生、以来県の中心都市として発展してきた。

○位置・地勢・気象

1 位置及び地勢

福島市は、福島県の北部に位置し、西は奥羽山脈の吾妻山から東は阿武隈山系の一部にまで及び山に囲まれた盆地となっており、その中央を阿武隈川が南北に流れている。

(令和7年4月1日現在)

北緯	東経	標高	面積	広ぼう	隣接市町			
					東	西	南	北
37°45' 39"	140°28' 26"	65.68m	767.72 km ²	東西 30.2 km 南北 39.1 km	桑折町 伊達市 川俣町	猪苗代町 山形県 米沢市 高畠町	二本松市	宮城県 白石市 七ヶ宿町

2 気象

本市の気候は、奥羽山脈と阿武隈山地に囲まれた盆地状の地形の影響を受け、内陸性気候の特徴を示している。最近 30 年間の年間平均気温は 13.4℃で、各季節間の気温差は比較的大きく、また年間降水量は 1,207 mmとなっている。

四季の天候をみると、春は低気圧の影響を受け、天気の変化が激しい。5月から6月にかけては晴天の日が多く、その後梅雨期に入り、雨量も多く、冷涼の日が続く。夏は風も弱風となり、盆地状の地形の影響を受けて、高温多湿の日が続く。秋はさわやかな晴天の日が多く、また台風期とあいまって、雨量は比較的多い。冬は寒さが厳しいが、降雪量は割合少なく晴天の日の続くことが多い。

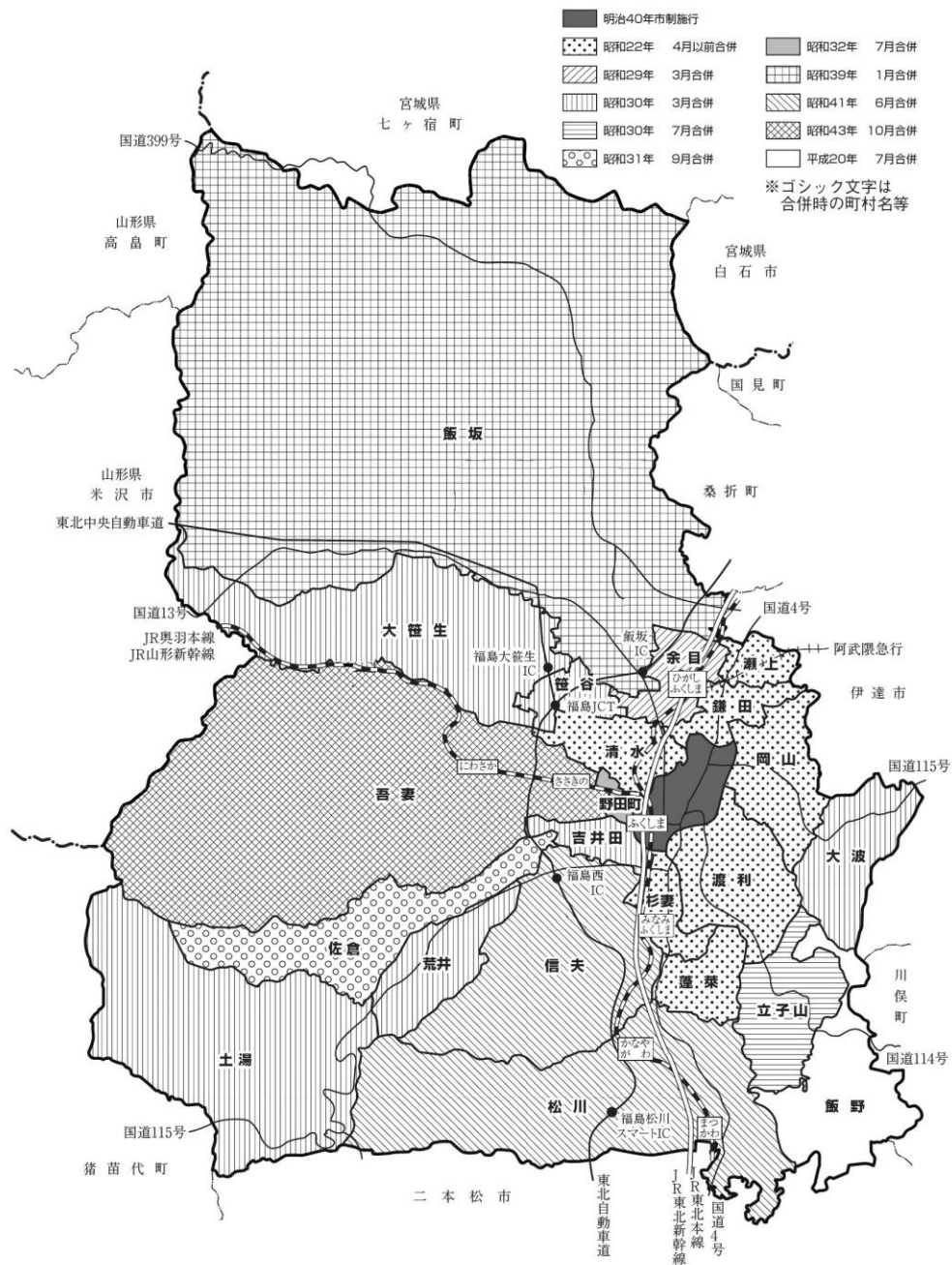
風については、夏は特に弱く、冬は比較強い。風向をみると夏は北東風、南風が多く、夏以外は西風、北西風が多くなっている。

○市制施行以来の主なできごと

明治	40	(1907)	市制施行	46	(1971)	路面電車(福島交通)廃止
			市立図書館設置			庭球場落成
	41	(1908)	軽便蒸気軌道敷設			終末処理場処理開始
	44	(1911)	ガス燈が点燈			市民福祉会館落成
大正	4	(1915)	十綱橋竣工	47	(1972)	北部学校給食センター開設
	6	(1917)	公会堂落成			福島中央卸売市場開場
			福島商工会議所開設			児童文化センター落成
	9	(1920)	市営住宅開設	48	(1973)	あづま陸橋開通
			市営火葬場落成			福島市民憲章制定
	14	(1925)	松齢橋竣工			福島市肢体不自由児通園
			上水道竣工			療育センター落成
昭和	2	(1927)	福島ビルディング落成	49	(1974)	森合市民プール落成
	6	(1931)	市制施行 25 周年			卸商団地完成
	7	(1932)	信夫橋竣工	50	(1975)	東北縦貫自動車道開通
	12	(1937)	岡部橋竣工			福島市夜間急病診療所開設
	16	(1941)	NHK福島放送局開局			蓬萊支所・蓬萊公民館開設
	18	(1943)	市役所火災	51	(1976)	人口 25 万人突破
	22	(1947)	信夫郡渡利村・杉妻村・清水村・岡山村・鎌田村・瀬上町及び吉井田村の一部を合併	52	(1977)	都市総合交通規制スタート
						福島駅前地下歩道開通
	24	(1949)	奥羽線福島～米沢間電化			幸橋(瀬上町)竣工
	26	(1951)	清水上水道竣工			あらかわ清掃工場落成
	27	(1952)	市役所本庁舎落成			市制施行 70 周年(市民フェスティバル開催)
			第7回国民体育大会開催	53	(1978)	老人福祉センター落成
	28	(1953)	公益質屋開設			宮城県沖地震発生
			ラジオ福島開局			南部学校給食センター開設
	29	(1954)	信夫郡余目村を合併			第1回市民マラソン大会開催
	30	(1955)	信夫郡笹谷村・大笹生村・吉井田村・荒井村・土湯村・伊達郡立子山村及び伊達郡霊山町の一部を合併	54	(1979)	名誉市民第1号に古閑裕而氏
						粗大ゴミ破砕施設落成
	31	(1956)	信夫郡佐倉村を合併			三本木橋竣工
			第1回市民体育祭開催	55	(1980)	文知摺橋竣工
			児童公園開園			金沢の羽山ごもり国重要無形文化財指定
	32	(1957)	信夫郡吾妻村の一部を合併			8月真夏日ゼロ、75 年ぶりの大冷夏
			市制施行 50 周年	56	(1981)	御山保育所落成
	34	(1959)	公会堂、中央公民館落成			もちずり公民館落成
			スカイライン開通			福島大学学舎落成
			自治振興協議会始まる			上蓬萊橋竣工
	35	(1960)	東北本線上野～福島間電化	57	(1982)	身体障害者福祉センター腰の浜会館落成
	37	(1962)	福島ステーションビル落成			家族旅行村吾妻高原スカイランド開村
	38	(1963)	福島テレビ開局			東北新幹線開通
			市民プール落成			福島市民家園開園
	39	(1964)	信夫郡飯坂町を合併			岡山支所新築移転
			市庁舎増築落成	58	(1983)	小鳥の森開園
			天神橋竣工			福島南バイパス全線開通
			東北本線上野～福島間全線複線化			サンライフ福島完成
	40	(1965)	吉井田じん芥焼却場落成	59	(1984)	西支所(荒井・佐倉支所を統合)落成
	41	(1966)	新栗子トンネル竣工			特別養護老人ホーム陽光園落成
			信夫郡松川町、信夫村を合併			福島ホール(音楽堂・働く婦人の家・勤労青少年ホーム)落成
	42	(1967)	市制施行 60 周年			東部支所(岡山・大波支所を統合)開設
			市民センター落成	60	(1985)	テレトピア構想モデル都市指定
	43	(1968)	信夫郡吾妻町を合併			市立図書館開館
	45	(1970)	新浜公園開園	61	(1986)	8.5 台風 10 号関連災害
			国道 13 号線信夫山トンネル開通			工場立地促進条例制定
			西部学校給食センター開設	62	(1987)	市制施行 80 周年
			わらじ祭り始まる			八木田橋竣工
			岡山じん芥焼却場新築落成	63	(1988)	あぶくまクリーンセンター落成
						あづま橋竣工

昭和	63	(1988)	阿武隈急行全線開通	平成	15	(2003)	宮畑遺跡の国史跡指定
			古関裕而記念館落成		16	(2004)	国道 114 号渡利バイパス開通
平成	元	(1989)	コミュニティ道路パセオ 470 竣工				福島市・川俣町・飯野町合併協議会設置
			土湯トンネル開通				福島市消費生活センターオープン
	2	(1990)	信夫支所・公民館落成		17	(2005)	飯坂支所・学習センター落成
			放置自転車防止条例施行				市民活動サポートセンターオープン
			南体育館落成				福島市安全で安心なまちづくり条例施行
			摺上川ダム建設一般補償協定調印				子どもの夢を育む施設こむこむ落成
	3	(1991)	ヘルシーランド福島落成				摺上川ダム竣工式
			第1回古関裕而音楽祭開催				一般国道 115 号土湯バイパス全線開通
	4	(1992)	飯坂温泉観光会館落成		18	(2006)	十六沼公園にサッカー場オープン
			北信支所・公民館落成				荒川区との災害時における相互応援に関する協定調印
			立子山自然の家落成				福島市民の消費生活を守る条例施行
	5	(1993)	十六沼体育施設落成				茂庭ふるさと館落成
			蓬萊学習センター落成		19	(2007)	市制施行 100 周年記念式典挙行
			異常気象(低温日照不足)により				福島市・飯野町合併協定調印式
			戦後最大の農作物被害を受ける		20	(2008)	伊達郡飯野町を合併
			西部環状道路一部開通				あらかわクリーンセンター焼却工場落成
	6	(1994)	国体記念体育館落成		21	(2009)	一般社団法人福島市観光物産協会設立
			渡利ふれあいセンター落成				古関裕而生誕 100 年記念事業実施
			信陵支所・公民館落成		22	(2010)	堀切邸オープン
	7	(1995)	東部学校給食センター開設				アクティブシニアセンター・アオウゼオープン
			福島勤労者総合福祉センター		23	(2011)	市役所新庁舎東棟開庁
			福島テルサ落成				東日本大震災発生
			渡利支所落成、吉井田支所・公民館落成		24	(2012)	福島市公式 Twitter Facebook 開設
			福島市農村マニファクチャー				屋内遊び場さんどパークオープン
			公園四季の里オープン		25	(2013)	びよんぴょんドームオープン
			土湯温泉町支所落成				東北六魂祭を本市で開催
			第 50 回国民体育大会開催		26	(2014)	福島市議会基本条例制定
			第 31 回全国身体障害者スポーツ大会開催				中央卸売市場を公設地方卸売市場に転換
	8	(1996)	国道 114 号バイパスの渡利大		27	(2015)	松川支所・学習センター落成
			橋全面開通(4車線)				パークゴルフ場オープン
			エフエム・ポコ開局				宮畑遺跡史跡公園じょもびあ宮畑オープン
			図書館オンラインシステム稼働		28	(2016)	荒川区と友好都市協定締結
			市制施行 90 周年		29	(2017)	市制施行 110 周年記念式典挙行
			清水学習センター落成		30	(2018)	中核市移行
			杉妻支所落成				公衆浴場中之湯オープン
			体育施設オンラインシステム稼働				NCV ふくしまアリーナオープン
	10	(1998)	福島西道路片側全線開通				福島圏域連携推進協議会発足
			ふくしまスカイパーク開場	令和	元	(2019)	東北絆まつりを本市で開催
			西部勤労者研修センター落成		2	(2020)	新型コロナウイルス感染症流行により東京 2020 オリンピック・パラリンピック 1 年延期
			福島市保健福祉センター落成				渡利学習センターリニューアルオープン
	11	(1999)	農業集落排水処理施設(小田地区)竣工				写真美術館リニューアルオープン
			吾妻支所・学習センター落成		3	(2021)	東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催
			リサイクルプラザ落成				道の駅ふくしまオープン
			福島南消防署落成		4	(2022)	クリエイティブ ビジネスサロンオープン
			もにわの湯落成		5	(2023)	三河台学習センターリニューアルオープン
	12	(2000)	福島市総合防災情報システム稼働				飯野学習センターリニューアルオープン
			渡利雨水ポンプ場落成		6	(2024)	清水支所落成
	13	(2001)	立子山支所落成		7	(2025)	市役所複合棟落成
			平和通り地下駐車場供用開始				
	14	(2002)	うつくしまねりんピック 2002 開催				
			板倉家福島藩主 300 年記念				
			福島城下大名行列				
	15	(2003)	花の写真館オープン				
			高湯温泉あったか湯落成				
			東西行政サービスコーナーオープン				
			コラッセふくしま落成				
			男女共同参画センターウィズ・				
			もとまちオープン				

○市域の変遷



◆地域別面積 (令和7年4月1日)

地区別	面積(km ²)	構成比(%)	地区別	面積(km ²)	構成比(%)	地区別	面積(km ²)	構成比(%)
総面積	767.72	100.00	鎌田	6.56	0.85	土湯	57.74	7.52
中央	10.72	1.40	瀬上	3.55	0.46	立子山	14.59	1.90
渡利	17.50	2.28	余目	7.17	0.93	飯坂	270.34	35.21
杉妻	5.82	0.76	大笹生	43.70	5.69	松川	63.07	8.22
蓬萊	7.50	0.98	笹谷	5.10	0.66	信夫	41.21	5.37
清水	9.17	1.19	吉井田	4.52	0.59	吾妻	111.90	14.58
岡山	13.10	1.71	荒井	12.62	1.64	飯野	21.31	2.78
大波	16.09	2.10	佐倉	24.44	3.18			

○人口

令和 7 年 4 月 1 日現在
人口総数 269,208 人
男(131,085 人)
女(138,123 人)
世帯数 122,711 世帯

1 人口・世帯数の推移

年次	福島市					旧飯野町					備考
	世帯数	人口			人口密度 1 km ² 当り (人)	世帯数	人口			人口密度 1 km ² 当り (人)	
明治 40 年	5,582	16,375	16,167	32,524	3,688	-	-	-	-	-	市制施行(4.1)
大正 9 年	6,757	17,518	18,244	35,762	4,055	-	-	-	-	-	第 1 回国勢調査(10.1)
14 年	7,651	20,211	21,168	41,379	4,691	-	-	-	-	-	第 2 回 //
昭和 5 年	8,314	22,186	23,506	45,692	5,180	-	-	-	-	-	第 3 回 //
10 年	8,842	23,171	25,313	48,484	5,497	-	-	-	-	-	第 4 回 //
15 年	9,082	23,042	25,245	48,287	5,475	-	-	-	-	-	第 5 回 //
22 年	17,684	40,989	45,550	86,539	1,223	-	-	-	-	-	第 6 回 //
25 年	18,659	45,099	48,336	93,435	1,321	-	-	-	-	-	第 7 回 //
30 年	24,858	62,294	64,965	127,259	548	1,628	4,442	5,043	9,485	456	第 8 回 //
35 年	30,695	66,968	71,993	138,961	538	1,646	4,177	4,839	9,016	433	第 9 回 //
40 年	41,722	83,372	90,306	173,678	329	1,647	3,969	4,483	8,452	406	第 10 回 //
45 年	58,325	109,846	117,605	227,451	305	1,698	3,758	4,258	8,016	385	第 11 回 //
50 年	68,370	119,546	126,985	246,531	331	1,737	3,682	4,010	7,692	370	第 12 回 //
55 年	77,976	127,853	134,984	262,837	352	1,773	3,734	3,916	7,650	367	第 13 回 //
60 年	82,183	131,530	139,232	270,726	363	1,781	3,663	3,804	7,467	359	第 14 回 //
平成 2 年	89,068	134,593	142,935	277,528	372	1,764	3,550	3,690	7,240	340	第 15 回 //
7 年	97,483	138,417	147,337	285,754	383	1,775	3,423	3,519	6,942	326	第 16 回 //
12 年	104,553	141,000	150,121	291,121	390	1,842	3,318	3,455	6,773	318	第 17 回 //
17 年	108,728	140,013	150,856	290,869	390	1,858	3,169	3,319	6,488	305	第 18 回 //
22 年	113,074	140,723	151,867	292,590	381	-	-	-	-	-	第 19 回 //
27 年	122,269	144,690	149,557	294,247	383	-	-	-	-	-	第 20 回 //
令和 2 年	121,919	138,190	144,503	282,693	368	-	-	-	-	-	第 21 回 //

(注 1)昭和 30 年 1 月 1 日より飯野町制施行

(注 2)平成 20 年 7 月 1 日に飯野町と合併した。

2 人口動態

年次	自然動態			社会動態			増加人口 (人)
	出生 (人)	死亡 (人)	増△減 (人)	転入 (人)	転出 (人)	増△減 (人)	
平成 29 年	2,077	3,170	△1,093	9,511	10,462	△951	△2,044
30 年	1,889	3,273	△1,384	9,269	10,048	△779	△2,163
令和元年	1,753	3,407	△1,654	9,163	9,664	△501	△2,155
2 年	1,806	3,287	△1,481	9,078	9,088	△10	△1,491
3 年	1,629	3,466	△1,837	8,516	8,964	△448	△2,285
4 年	1,576	3,770	△2,194	8,852	9,260	△408	△2,602
5 年	1,423	3,787	△2,364	8,360	8,824	△464	△2,828
6 年	1,284	3,741	△2,457	8,080	8,906	△826	△3,283

資料:「福島市の人口動態」

3 産業大分類別就業者数

		総数 (人)	令和 2 年		
			構成比 (%)	男 (人)	女 (人)
就業者人口		130,741	100.0	72,018	58,723
第 1 次産業	合計	5,065	3.9	3,076	1,989
	農業	4,909	3.8	2,945	1,964
	林業	146	0.1	122	24
	漁業	10	0.0	9	1
第 2 次産業	合計	29,226	22.4	21,064	8,162
	鉱業、採石業、砂利採取業	16	0.0	15	1
	建設業	9,879	7.6	8,119	1,760
	製造業	19,331	14.8	12,930	6,401
第 3 次産業	合計	91,650	70.1	45,295	46,355
	電気・ガス・熱供給・水道業	1,027	0.8	885	142
	情報通信業	2,262	1.7	1,574	688
	運輸業、郵便業	4,919	3.8	4,133	786
	卸売業、小売業	18,748	14.3	8,962	9,786
	金融業、保険業	3,477	2.7	1,659	1,818
	不動産業、物品賃貸業	2,071	1.6	1,156	915
	学術研究、専門・技術サービス業	3,862	3.0	2,533	1,329
	宿泊業、飲食サービス業	6,548	5.0	2,434	4,114
	生活関連サービス業、娯楽業	4,389	3.4	1,707	2,682
	教育、学習支援業	7,040	5.4	3,076	3,964
	医療、福祉	19,045	14.6	5,151	13,894
	複合サービス事業	1,050	0.8	632	418
	サービス業（他に分類されないもの）	8,560	6.5	5,264	3,296
	公務（他に分類されるものを除く）	8,652	6.6	6,129	2,523
分類不能の産業		4,800	3.7	2,583	2,217

(注) 就業者人口総数には分類不能の産業を含む。

資料: 令和 2 年国勢調査

(人)

	福島市		
	平成 22 年	平成 27 年	令和 2 年
第 1 次産業	6,161	5,644	5,065
第 2 次産業	29,906	32,308	29,226
第 3 次産業	90,159	96,449	91,650